2025 年度情報セキュリティ大学院大学 ProSec メインコース対象演習の内容

■CSIRT 運営管理者向けメインコース（CS-M2025）の対象となる演習

演習名	演習内容	必修・選択	開講日程・時間帯
CSIRT 実践 （CSIRT 構築の手引き、デジタルフォレンジック）	本演習では、前半の 2 日間でセキュリティインシデント対応の基本的なプロセス、および対応時に用いられる技術について、解説と演習を通して習得するほか、組織内でのインシデント対応組織（CSIRT）の立上げと運用、および CSIRT 連携の進め方についてケーススタディを通して学ぶ。また、現実に起きている攻撃手法のデモや Web サーバのログ解析演習を通して、サイバー攻撃によるインシデントの実例について学ぶ。後半の 3 日間では、インシデント発生後の対処に必要となるデジタルフォレンジック技術の基礎を習得することを狙いとする。具体的には、デジタルフォレンジックの基礎知識・技術の解説、Windows 端末の解析で共通的に実施される基本的な作業に関する解説と実習、企業におけるインシデントを想定した本格的な解析演習を集中して行うとともに、結果を報告書にまとめる演習を実施する。	必修	6/16(月),6/17(火), 6/30(月),7/1(火),7/2(水) 9:30～16:50 （計 30 時間）
セキュアシステム技術演習	本演習では、「ネットワーク経由の情報セキュリティ攻撃とその防御および検知」をテーマとし、攻撃者がどのようなツールや手法を用いてネットワーク不正侵入行為を行うか、またどのような防御方法や検知方法が有効かについて、実習を通して理解を深めることを目指す。	必修	10/20(月),10/21(火),10/22(水), 10/27(月),10/28(火),10/29(水) 9:00～17:50（計 45 時間）

■IoT セキュリティメインコース（IT-M2025）の対象となる演習

演習名	演習内容	必修・選択	開講日程・時間帯
IoT セキュリティ実践演習	現代社会はインターネットを通して家庭のテレビやエアコンばかりでなく、工場の制御機器や町中の監視カメラなど多くの機械が繋がっている。本コースではサプライチェーンからホームセキュリティまでを対象にし、SBOM、TEE など安全保障のために活用が見込まれる技術の紹介を行う。また法制度が進むヨーロッパの CRA: Cyber Resilience Act や国内の IoT 製品セキュリティ適合性評価制度なども含めて、IoT を担当する場合に考慮すべきセキュリティについて、講義と演習を行う。	必修	6/4(水),6/5(木), 講義：9:30～12:40 演習：13:40～16:50 （計 12 時間）
セキュアシステム技術演習	本演習では、「ネットワーク経由の情報セキュリティ攻撃とその防御および検知」をテーマとし、攻撃者がどのようなツールや手法を用いてネットワーク不正侵入行為を行うか、またどのような防御方法や検知方法が有効かについて、実習を通して理解を深めることを目指す。	必修	10/20(月),10/21(火),10/22(水), 10/27(月),10/28(火),10/29(水) 9:00～17:50（計 45 時間）

■企業経営向けビッグデータ分析とリスク経営メインコース（RM-M2025）の対象となる演習

演習名	演習内容	必修・選択	開講日程・時間帯
インシデント対応と CSIRT 基礎演習	インシデント発生を前提として、問題発生時の迅速な対応と復旧を行い、被害を最小限に抑える CSIRT 活動が重要性を増している。本演習では、セキュリティインシデント対応の基本的なプロセスとして、計画の立案から対応、振り返りまでの一連の活動を解説と演習を通して習得する。また、CSIRT に求められる役割の一つであるインシデント対応教育を計画するための演習シナリオ策定についてデザイン思考の基本的な手法であるジャーニーマップを用いて検討する。	必修	9/4(木),9/5(金),9/8(月),9/9(火) 9:00～16:10（計 22.5 時間）